

- ① 四男に生まれ二歳で母逝きて父そして兄結核に死す
- ② 弔いの一部始終を繰り返して見て育つ子の葬式遊び
- ③ 全甲の成績衰し死の病自暴自棄なる青春もあり
- ④ 逆縁に耐えて育てし祖父母老い一人残れり十六歳は
- ⑤ 復興は己が使命とわきまえて徴兵さつさと済ます作戦
- ⑥ 大陸や筆談したる捕虜もまた親の没せし若者なりき
- ⑦ 南方や野戦病院爆破され傷病癒えぬままの行軍
- ⑧ 付き添いの命を受けたる同輩のマラリアに伏し屍となりぬ
- ⑨ 住民の畑より盗むサトウキビ盗みて食みて糧を繋げり
- ⑩ 末っ子の学童疎開不憫とて一家まるごと帰省の家族
- ⑪ 万緑や葛屋ときどき瓦屋根つきたる家の石並ぶ屋根
- ⑫ 板の間の奥の茶の間の藁蓆つま先立てる絹の靴下
- ⑬ 紅葉の色あせし頃帰還せし主色白背は高からず
- ⑭ 板の間に畳敷き詰め祝言も戸籍戦災未だ届かず
- ⑮ 甘さとは比律賓の扉にて砂糖使わぬ新妻となる
- ⑯ 円相は労働にあり稲まるけ空に丸描く父母となりけり
- ⑰ 縄をなう新しき藁継ぎ足して手に唾つけて禍福あざなう
- ⑱ 記念樹や一部始終を見て育ち紅華やかに枝垂れ眩しき
- ⑲ 四男に生まれ「死なん」と洒落て生き遂に敏翁道悟居士なり
- ⑳ 提灯の灯を消さぬようそろそろと都会に住まう曾孫歩めり